

指導教員	白松 俊
研究室から一言	社会課題やシビックテックを扱うので、「せっかく身に付けたスキル、世の中を良くするために使ってみたい!」という志ある人にお薦め。
研究テーマ: 自然言語処理で人々のコラボレーション(シビックテックなど)を支援する	
白松研 では、 自然言語処理 や ナレッジグラフ といった知識処理の技術を活用して、 シビックテック など組織の壁を越えたコラボレーションに使えるようなシステムを研究・開発しています。特に、この10月からスタートする5年計画の研究プロジェクトでは、気候変動や少子高齢化、パンデミックなど破局的な状況を招きかねない問題に立ち向かうため、 根拠に基づく合意形成 (Evidence-based Consensus Building) の支援システムを開発します。他にも、「世の中を良くしたい」という取り組みをオープンデータにして協力者を集めたり、市民参加型議論のファシリテーションを支援するシステムを開発しています。さらに、演奏経験が乏しくても手を上下動させるだけで即興合奏できるシステムや、発達障害など生きづらさを抱える若者の自己理解を助けるアプリ等も開発しています。	
研究室見学会 Zoom	(https://us02web.zoom.us/j/85415199443?pwd=eXBVYmxlaEhOT0NtcmNVdzliVlNYdz09)
研究室見学会 日時	(他の日時を希望する方は、 siramatu@nitech.ac.jp まで。応相談) 10/15(木)13:00, 10/19(月)13:00, 10/20(火)13:00, 10/26(月)13:00, 10/30(金)13:00, 11/4(水)13:00
定員超過の場合の選考基準	成績 ・ 進学希望の有無 ・ その他 (面接にて総合的に選考します)

(15) 2019年(令和元年) 9月17日 火曜日

ある市民と技術者が協力し、技術をうまく使って課題に取り組み必要がある。そのよう取り組みは「シビックテック」活動の構造化

研究現場 発

名古屋工業大学大学院 工学研究科情報工学専攻准教授 白松 俊

市民協働を促す基盤技術確立を目指して

写真1 活動内容を構造化するWebアプリMissionForest

写真2 「全国若者・ひきこもり協同実践交流会」と連携した社会実験

研究テーマを生み出し、今年度も継続中である。また、同様の問題意識から、市民とAI研究者が協働して地域課題解決を試みる場を提供すべく、人工知能学会に設置された市民共創知研究会の運営にも携わっている。これまで、遠野市、対馬市、名古屋市、小松市、松江市の5カ所での研究会を開催した。

状態遷移推定

NSP Mask LM Mask LM

BERT

Masked Sentence A Masked Sentence B

Unlabeled Sentence A and B Pair

Pre-training

Finetuning

VS COVID-19 IdeaBox

自然言語処理やLinked Open Dataを用いた市民協働支援/議論支援

人間とエージェント(AI)のコラボレーションによる「根拠に基づく合意形成」の支援技術

身体動作による即興合奏支援